

2022年9月1日
企画調査部 木村裕美

2022年8月17日に、東京都町田市および練馬区教育委員会所属の小学校、中学校の教員の方を対象とした研修において、講師を務める機会を頂きました。この研修は、INPEXが2019年から「教員の民間企業研修」に参画し、教員の受け入れを開始したことに伴い、毎年夏に実施しているものです。これまで2019年実施後、2020年はコロナの感染拡大のため、研修自体が実施できず、昨年はオンラインにて実施、3回目となる今年度は、感染対策を行った上で、対面で実施しています。

当日は、「エネルギーの現況そして未来へーINPEX 新たな風」と題して75分（QA含む）のプレゼンを実施しました。

日本のエネルギーの現状、2050年のCNに向けた日本の取組やINPEXの会社概要及び新たな取り組みなどについて話をさせて頂きました。普段教える立場の教員の方たちですが、逆の立場から興味深く、また高い関心を寄せて耳を傾けて下さり、好評のうちに終了することができました。

プレゼンでは、石油・天然ガスに関する一般的な知識や、現状、気候変動問題などについて日本政府の取り組みなどの情報を共有し、エネルギーの大切さなどにさらに理解を深めて頂けたことと思います。



参加された教員からのコメント・質問をいくつかご紹介します。

- 石油・天然ガスの開発には多くの時間と資金が必要な事業であることを再認識した。
- 小学校1年の担任から、エネルギーのことをもっと教えたいが、優しい言葉を使うにしてもどのように理解してもらえばいいのか難しいと感じた。
- 特殊学級の担任から、理解度の異なる生徒に対してエネルギーの大切さについてどのように理解を深めてもらえばいいだろうか。
- 水素・アンモニア製造の際には、化石燃料が必要で結局はCo2が排出され、結果としてCo2を増やすことになるのではないかとずっと疑問に思っていたが、Co2排出を低減させる取組についての説明で納得できた。

SLTでは、こうした各方面の社会人研修の実施や、中学・高校・高専・大学との関係を深め、次世代教育・育成の活動に貢献することを目的とし、出張授業を積極的に展開して参ります。